

# 令和4年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理総合	講座名	地理総合	対象年次	1
教科担任				単位数	2
教科書	わたしたちの地理総合（二宮書店）、新高等地図（東京書籍）				
副教材等	COMPLETE2022（帝国書院）				

学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、また、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる資質を養う。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月	第一回定期考査	球面上の世界	8 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊能忠敬「大日本沿海輿地全図」</li> <li>・測量からみた球面上の世界と時刻と方位</li> <li>・世界の地理学史と球面上の世界</li> <li>・球面上の位置、方位、対蹠点、時差</li> <li>・主要な図法の種類とその特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校および中学校時代の地理的認識を把握し、高等学校での学習につなげる。</li> <li>・新学習指導要領で示されている地歴融合の観点も入れる。</li> </ul>
5月					
5月	第二回定期考査	国家の領域と領土問題、国家間の結びつき 地図の活用と地域調査	16 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種図法とその応用</li> <li>・国家の領域</li> <li>・領土問題</li> <li>・国家群</li> <li>・地理情報の地図化</li> <li>・地図の活用と地理情報システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中でも取り扱われている国家の領域論、領土問題、国家群についての理解度を確認する。</li> <li>・新学習指導要領で強調され、大学入試共通テストでも既に取り上げられている地理情報システムについて取り扱う。</li> </ul>
7月					
7月	第三回定期考査	自然環境と生活文化	14 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートテクトニクス理論</li> <li>・大地形と小地形の形成過程、分布や各地形の特徴と人間生活とのかかわり</li> <li>・大気循環理論</li> <li>・気候の形成過程、分布や各地形の特徴と人間生活とのかかわり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然地理を概説する。</li> <li>・新学習指導要領で強調されている、災害論にも結び付ける。</li> </ul>
10月					
10月	第四回定期考査	産業の発展と生活文化 言語・宗教と生活文化	14 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次～第三次産業論</li> <li>・言語</li> <li>・人種と民族</li> <li>・宗教</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際関係論を地理歴史科、公民科で取り扱うための基礎を養成する。</li> </ul>
12月					
12月	第五回定期考査	グローバル化の進展と生活文化 地球的課題と国際協力	18 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口・食糧問題</li> <li>・居住・都市問題</li> <li>・資源・エネルギー問題</li> <li>・地球環境問題</li> <li>・自然環境と防災</li> <li>・持続可能な地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球的諸課題を見たあとにスケールを絞り込み、生活圏の諸課題を抽出して、さらに課題解決策を検討させる。</li> </ul>
3月					

評価の観点・方法	知識理解・思考判断力や表現力を問う年4回の考査の素点を基礎として、授業の予習、授業中、復習などに積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点も含めた出席状況、課題の提出状況、平常点を参考とする。それらを総合的に判断して評価する。
----------	---

# 令和4年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理 B	講座名	地理 B	対象年次	3
教科担任				単位数	5
教科書	新詳地理 B (帝国書院)、新詳高等地図初訂版 (帝国書院)				
副教材等	COMPLETE2020 (帝国書院)				

学習目標	現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し理解させる。また、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、大学入試に対応できる実力をつける。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	鉱工業 交通・通信・貿易 ・余暇活動	30h	世界各地の工業地域の形成について、立地の要因等に着目し学習する。 交通・通信の発達や、各国間もしくは経済圏を形成して行われる世界貿易の構造について、全地球的な視点から考察し、地理的認識を深める。 近年注目されている余暇活動(労働・観光)についても、取り扱う。	地図(GISを含む)や統計資料、景観写真等を用いて、学習内容を多面的・多角的な視点で分析する力を養う。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	人口 村落と都市 言語・民族・宗教	30h	世界の人口や人口問題について、発展途上国と先進国それぞれの特徴をつかみ考察する。 村落・都市の形態や機能、その役割や内部構造の変容、都市問題等について学習する。 世界の言語・民族・宗教について、その多様性を学ぶとともに、異なる民族間・宗教間で生じている諸問題について学習する。	主題図、統計資料を活用し、学習内容を多面的・多角的な視点で分析する力を養う。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	世界地誌	35h	アジアやアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアといった世界の諸地域について自然や文化、産業などに現れる特徴を地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を深める。	各大学で出題方式が大きく違うため、受講生の志望する大学の入試に特化した精選を行う。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	自然地理 および農林水産業・鉱業	35h	世界の地形や気候について、何故それがそこに見られるのかを自然科学的な視点から理解するとともに、人間生活とのかかわりに着目しながら系統的に学習する。 特に自然地理と結びつく農林水産業・資源エネルギー論について学習する。	大学入試共通テストが殊に自然地理に特化した出題である実態に鑑み、第一学年での既習範囲ではあるが、直前対策を行う。
12月 ～ 3月	受験直前期	総合演習	45h	これまで学習してきた内容についての演習を行うとともに、総合的な視点から現代世界の諸課題について解決するための方策の提案など、自分の意見をもつところまで必要な大学を受験する受講生がいた場合は、その基礎となる部分の学習のまとめを行う。	大学入試直前対策を実施する。特に論述対策が必要な受講生がいた場合には、添削指導等も実施する。

評価の観点・方法	年4回の考査の素点を基礎として出席状況、平常点を参考とする。また授業内では発表形式を採用しており、その予習、授業中のプレゼンテーションなどについて積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点からも含め、総合的に判断して評価する。
----------	---

# 令和4年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理B	講座名	地理B演習	対象年次	3
教科担任				単位数	2
教科書	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図初訂版（帝国書院）				
副教材等	COMPLETE2020（帝国書院）、22共通テスト実力トレーニング地理（啓隆社）				

学習目標	大学入試共通テストに対応できることを目標に過去出題された問題や頻度の高い問題の演習・解説を通して知識の確認・修得・実力向上を図る。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	自然地理学概論	12h	大学入試共通テストが、自然地理学を基礎として出題されている実態に鑑み、気候論・水文学を中心とした自然地理学の基礎基本を押さえる。特に理科系生徒の受講者が多い実態も考慮して、理科や数学科にも応用できる講義展開を実施する。	小学校時代からの知識に立ち返りながら、あるいは理科・数学科などの知識も活用するなど、多様な視点から考察できる力、資料の活用能力の向上を図る。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	産業論	12h	自然地理学の基礎の上に立って、農林水産業・資源エネルギー論を理解する。大学入試共通テストで頻出している農業立地・工業立地論、および近年注目されている観光論についても理解する。	大学入試共通テストで用いられている自然地理と関連させた設問について慣れさせてゆく。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	その他の系統地理的分野	14h	人口と都市・村落、人種・民族・宗教等の系統地理的分野を押さえる。	特に主題図や地形図との関連を意識させる。受講生自身の弱点分野を認識させ、対策法を伝授する。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	世界地誌	14h	アジアやアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアといった世界の諸地域について自然や文化、産業などに現れる特徴を押さえてゆく。	大学入試共通テストに出題される国、地域、分野に合わせた精選を行い、その対策法も伝授する。
12月 ～ 3月	受験直前期	実戦演習	18h	出題形式・難易度・時間・体裁など本番に備えた実戦練習を積み重ねる。	時間を決め正確に問題を解くスピードを身につける。弱点分野の補強・最終確認などを行う。
評価の観点・方法	年4回の考査の結果や実戦演習での結果とともに、授業中・復習などに積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点から、総合的に判断して評価する。				